



日本の皆さんへ

以下はwww.maxfx.netのホームを、地球上で最も多くの人に話され、理解されている言語の一つである日本語に翻訳したものです。本ページは4つの記事にリンクされています。残念ながら、翻訳されているのはホームとこの4つの記事のみですが、もし特定のご質問がありましたらご連絡ください。ご質問にお答えするか、ワールドワークに興味を持つ皆さんの地域の団体や個人との連絡にご協力したいと思います。また、皆さんのお住まいの地域を訪れて、事情が許す限り無料で会議やセミナーのファシリテーションをすることも考えておりますので、ご興味のある方は下記までお問い合わせください。

連絡先：

Max Schupbach Ph.D.

住所：2049 NW Hoyt Street Ste 3

Portland, OR, 97209

電話・ファックス：1(国番号)- 503-210-0314

Eメール：max@maxfx.net

MAXFXX へようこそ！

私の名前はマックス・シュバックです。現在はアメリカのオレゴン州ポートランドを拠点に、様々な分野でファシリテーター、コンサルタント、そしてセラピストとしての仕事をしています。私の仕事の基本となっているのが、**エイミー・ミンデル、アーノルド・ミンデル夫妻**によって開発されたパラダイムである「ワールドワーク (Worldwork)」と「プロセスワーク (Processwork)」です。本サイトは、組織コンサルタント、グループ・ファシリテーター、リーダーシップ・コーチとしての私の活動、および私が理解するワールドワークの理論について記載したものです。これ以外の分野での私の仕事についてご興味のある方は、私とパートナーの**エレン**のサイト (www.eminee.net) をご参照ください。こちらのサイトには、個人やカップルを対象とした**プロセスワーク**に関する私たちの活動について、詳しい説明を記載してあります。

1999年に私が創設した Maxfx Inc. は、世界20カ国以上のファシリテーターや専門コンサルタントがプロジェクトごとにチームとなって集まる場を提供するヴァーチャル・ネットワークです。このネットワークで基本として用いられているのが「ワールドワーク(Worldwork)」

のパラダイムです。

ワールドワークとは、あらゆる形態の集団や組織を理解し、それらと取り組むための新しいパラダイムです。その核となっているのは、意識に関する研究と、現代物理学の新鮮な解釈であり、ワールドワークのパラダイムではこれらの分野が新たな方法で結び合わされています。下記の[紹介記事](#)に掲載したような概念(深層民主主義 : Deep Democracy、エッジ、「組織の夢」、など) は、組織生活に対する私たちの見方に新鮮な光を投げかけてくれるでしょう。ワールドワークは参加型であると同時に、あらゆる規模の集団の発生や変化を分析し、ファシリテートするための理論を含んでいます。ワールドワークが扱う集団は、世界規模のプロセスから地域の出来事まで、また、公共スペースから企業や共同体を含むあらゆる形態の組織まで、と様々です。

ワールドワーク (Worldwork) は、[ミンデル夫妻](#)によって開発され、その後[ワールドワーク・コミュニティ](#)の中で、関係者が共に学び合う中で発展してきました。私もそのコミュニティの一員です。私は組織や複数の人間が集まる場での出来事を理解し、それに取り組むことに情熱を抱いているのですが、その際に、個人的にはこのワールドワークのパラダイムが驚くほど役立っています。以下のページを通じて、ワールドワークを理解するための情報だけでなく、このパラダイムに対する私の思い、このパラダイムを適用した時の個人的な経験やその結果な

どについて皆さんと分かち合えたら、と思っています。

どうぞ本サイトの各ページをじっくりとお楽しみください。もし時間がなくて、このパラダイムの概要だけを知りたい、という場合には、以下のリンクをご参照ください。そして後からまたじっくりと本サイトを訪れていただけたら幸いです。

Worldwork: ワールドワーク：組織、共同体、企業、公共の場における変容 - ワールドワークの視点、方法論、態度に関する 12 ページの記事)

ワールドワークを適用したケースの簡単な紹介

米国・欧州企業のカリブ海拡張 - グローバル 500 企業におけるチームワークと多様性問題

都市において公共スペースを分かち合うには：企業共同体、行政、警察、パンク、その他のマージナルな集団が一同に参集したスイス・チューリッヒでのオープンフォーラムのケース

犯罪者は誰だ？ - 刑務所における組織開発：被収容者、看守、刑務所管理者のグループ・プロセス

ワールドワークのモデルは、関係者が共同で努力を重ね、集団で対話を続けることを通して、研究や適用が続けられており、常に発展途上にあります。本サイトは、あくまでも私個人の経験や理解を反映したものです。本パラダイムやその可能性についてより詳細に理解されたい方は、ぜひ本サイト内の随所で紹介されている各出版物やリンクを参照なさってください。

ご覧のように、本ページと上記の4件のドキュメントはいくつかの言語に翻訳されていますが、残念ながら限られた言語のみとなっております。もしもご自分の第一言語が掲載されていない場合には、どうかご容赦ください。

皆さんに本サイトを楽しんでいただけることを心から願っております。

マックス・シュバック (Max Schupbach)